

令和2年度「地域年金展開事業」取組結果

自 令和 2年4月 1日

至 令和 3年3月31日

東北福島年金事務所

(福島県代表年金事務所)



日本年金機構

Japan Pension Service

《 はじめに 》

令和2年度における地域年金展開事業は、新型コロナウイルス感染症拡大を防止するため、4月から7月上旬までの間は一般の方を対象とした対面による年金セミナーや制度説明会等は原則中止としました。

7月中旬以降は、関係機関から開催要請があった場合に限定し、新型コロナウイルス感染症防止対策を徹底したうえで、対面による年金セミナー等を再開しました。

このような状況であることを踏まえ、例年定期的に開催してきた「教員向け年金セミナー」や「年金委員を対象とした研修会」は中止としました。

今後は、対面型の年金セミナー・制度説明会とあわせて、非対面でも実施可能なオンラインでの取り組みも進めてまいります。

目 次

1 令和2年度の取組結果・	3
(1) 地域連携事業	
(2) 年金セミナー事業	
(3) 地域相談事業	
(4) 年金委員活動支援事業	
2 「ねんきん月間」「年金の日」の取組・	17
3 マスコミでの取り上げ状況・	18
4 福島県地域年金事業運営調整会議・	19
5 各事業における総括と課題・	20

1 令和2年度の取組結果

(1) 地域連携事業

ハローワーク郡山(郡山市ニコニコこども館)への講師派遣

就職を希望する子育て中の求職者に対し、年金制度の概要や健康保険被扶養者の認定要件など、ご要望いただいた内容に基づき説明を行いました。

実施日	講習会名	事務所名	実施回数	受講者数
令和3年1月19日	「子育て」と「働く」を応援！就職支援セミナー	郡山	1回	24名

ハローワーク白河への講師派遣

ハローワーク白河で行われた職員研修へ講師を派遣し、事前に要望を受けた障害年金の要件や老齢年金と雇用保険に関する質問などについて、2日間にわたり全職員を対象に研修を行いました。

実施日	講習会名	事務所名	実施回数	受講者数
令和3年2月8日 令和3年2月9日	令和2年度 社会保険・年金制度研修会 (1日2回実施)	白河	4回	41名

(1) 地域連携事業

事業所の社会保険事務担当者向け説明会の実施

■ 令和2年度 社会保険事務講習会(10～11月開催)

社会保険の適用に関する届出や年金の諸手続きについての説明と、新型コロナウイルス感染症の影響による厚生年金保険料等の特例改定の説明を行いました。

開催にあたり、新型コロナウイルス感染拡大防止のための対策を行い、会場によっては定員を昨年の半数以下にして実施しました。

事務所名	東北福島	郡山	平	会津若松	相馬	白河	合計
回数	2回(2回)	3回(3回)	1回(2回)	1回(1回)	2回(2回)	2回(2回)	11回(12回)
受講者数	237名 305名	252名 270名	136名 199名	126名 165名	71名 94名	63名 95名	885名 1,128名

(注) 青字は令和元年度実績

令和2年度 算定基礎届等事務講習会(6月開催)については中止し、日本年金機構ホームページに算定基礎届等作成にかかる資料及び動画を掲載いたしました。広報については、福島県社会保険協会発行の「社会保険ふくしま」や県内の適用事業所に送付している「日本年金機構からのお知らせ」等で県内の事業所に周知を行いました。

(1) 地域連携事業

退職準備セミナーへの講師派遣

福島県労働福祉協議会主催の退職準備セミナーにおいて、退職を控えている方や数年後に退職を迎えられる方々に対して、年金制度の概要や退職後の年金手続きについての説明を行いました。

新型コロナウイルス感染防止対策を徹底して行われ、参加された方より「退職するためには、心の準備を含めて各種費用がかかることを改めて考えることができた内容でした」などのご感想をいただきました。

事務所名	東北福島	郡山	平	会津若松	相馬	白河	合計
開催日 (各土曜日)	1月23日	10月24日	12月19日	12月26日	1月16日	10月31日	—
参加者数	40名	15名	40名	30名	20名	7名	152名

関係機関・団体等への協力依頼

「ねんきんネット」利用促進や「年金相談予約制」の周知・広報について、福島県商工会議所連合会及び福島県商工会連合会、県内の各商工会議所へ協力依頼を行い、ポスター・パンフレットを配布していただきました。

(1) 地域連携事業

■ 年金制度説明会の実施状況

年金制度の正しい知識や手続き、制度改正等の情報を地域において周知するため、各関係機関・団体と協力して下記のとおり年金制度説明会を行いました。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により7月までは年金制度説明会を実施できなかったことから、前年度を下回る結果となりました。

事務所	企業・団体等		自治会・ 公的機関等		社労士会		社会保険協会・ 委員会等		受給者協会		合計	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
東北福島	3回	249名	2回	50名	—	—	—	—	—	—	5回 13回	299名 1,024名
郡山	4回	308名	2回	39名	—	—	5回	105名	—	—	11回 17回	452名 1,020名
平	1回	136名	3回	75名	—	—	—	—	—	—	4回 8回	211名 594名
会津若松	5回	201名	3回	80名	—	—	—	—	—	—	8回 13回	281名 551名
相馬	2回	71名	1回	20名	—	—	—	—	—	—	3回 6回	91名 255名
白河	2回	63名	3回	48名	—	—	—	—	—	—	5回 19回	111名 467名
合計	17回 23回	1,028名 2,714名	14回 24回	312名 463名	— 3回	— 72名	5回 19回	105名 448名	— 7回	— 214名	36回 76回	1,445名 3,911名

(注1) 青字は令和元年度実績。(注2) 企業等には算定・社会保険事務説明会を含む。

(1) 地域連携事業

■ 年金制度説明会の実施状況

事務所別	企業・団体等 / 社労士会 / 受給者協会	受講者数	自治体・公的機関等	受講者数	社会保険協会・委員会等	受講者数
東北 福島	・福島医療生活協同組合 制度説明会 ・社会保険事務講習会(福島市、二本松市)	12 237	・伊達市保健福祉部 国民年金事務説明会 ・退職準備セミナー(福島市)	10 40		
郡山	・公益社団法人 福島県看護協会 制度説明会 ・社会保険事務講習会 (郡山市、田村市、須賀川市)	56 252	・退職準備セミナー(郡山市) ・ハローワーク郡山(郡山市にここども館) 制度説明会	15 24	・福島県社会保険協会郡山支部・郡山社会保険委員会・年金セミナー (郡山市、田村市、須賀川市、石川町) ・郡山社会保険委員会 支部長会議	101 4
平	・社会保険事務講習会(いわき市)	136	・福島県立いわき支援学校 くぼた校 制度説明会(保護者対象) ・退職準備セミナー(いわき市) ・いわき市立植田小学校 制度説明会(教職員対象)	20 40 15		
会津 若松	・社会保険事務講習会(会津若松市) ・管内事業所 制度説明会 ・管内事業所 制度説明会 ・管内事業所 制度説明会 ・管内事業所 制度説明会	126 16 5 25 29	・福島県退職公務員連盟大沼支部 制度説明会 ・退職準備セミナー(会津若松市) ・管内市町村担当者事務説明会	30 30 20		
相馬	・社会保険事務講習会(相馬市、南相馬市)	71	・退職準備セミナー(南相馬市)	20		
白河	・社会保険事務講習会(白河市、棚倉町)	63	・退職準備セミナー(西郷村) ・ハローワーク職員向け制度説明会(4回)	7 41		

(2) 年金セミナー事業

地域年金推進員の活動

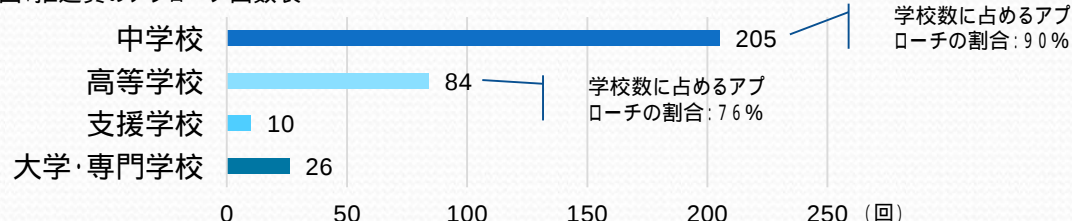
日本年金機構においては、教職員OB等を「地域年金推進員」として委嘱し、学校に対し年金セミナー実施のアプローチや年金セミナーの講師を行っていただいています。福島県では2名の地域年金推進員が活動しております。

令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、上期の活動を自粛し、12月より県内の学校へ電話による年金セミナー実施のアプローチを行いました。

主な活動内容

訪問・電話でのアプローチ活動
講師をする職員へのアドバイス
年金セミナー実施
年金セミナー資料に係る提案・助言等

図：推進員のアプローチ回数表



(参考) 県内の学校数：公立・私立中学校(227校)、公立・私立高等学校(111校)、特別支援学校等(23校)、大学・専門学校(70校)

年金セミナー用動画(DVD)の活用

日本年金機構本部で作成した年金セミナー用動画(DVD)を活用して、令和元年度に実施または令和2年度下期(11月～3月)に実施予定の学校等へ、動画による年金セミナー実施についてアプローチを行いました。

その結果、中学校6校、高等学校8校、大学・専門学校8校で実施し、下記のとおりご意見・ご感想をいただきました。

《ご意見・ご感想 (一例)》

- セミナーを受ける前は、年金と聞くとお年寄りの方が対象となるものなのかなと思っていたが、セミナーを受けた後は、年金はお年寄りだけでなく、若い人に対しても大切なものだということが良く分かりました。また、映像がとても見やすかったです。
- 動画のはじめが可愛いイラストであったため、身構えることなく見ることができました。とても分かりやすかったです。学生納付特例について、もう少し詳しく知りたいと思いました。

動画の内容 収録内容：既存の動画「国民年金って本当に必要なの！講座」(桃太郎版)及び「知っておきたい年金のはなし」を基にした動画(再生時間：約35分)

(2) 年金セミナー事業

聴覚支援学校での年金セミナー実施

郡山市の福島県立聴覚支援学校において、手話通訳士を活用した年金セミナーを実施しました。

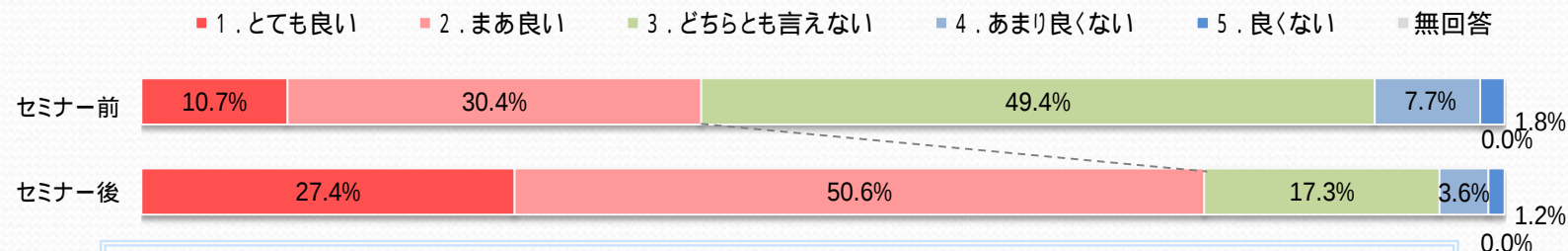
事前に市役所へ手話通訳士の派遣要請を行い、当日は生徒に配慮したうえで、手話のペースを確認しながら説明を行いました。生徒からも「収入があった場合でも障害年金は受け取ることができるのか」などの質問をいただき、年金セミナーを通じて年金制度に関心をもてただける機会となりました。

年金セミナーのアンケート結果

東北福島年金事務所管内で対面で実施し、アンケートにご協力いただいた中学生168名の回答

■ 年金に対するイメージについて

Q. セミナーを受ける前と受けた後の「年金」に対するイメージはどうでしたか？



『とても良い・まあ良い』の評価は、セミナー前の 41.1% からセミナー後は 78.0% になりました

■ ご意見・ご感想 (一例)

- 公的年金制度とか年金とかにあまり関心がなかったのですが、今回の話を聞き、社会全体の支え合いが大事だと思って良かったです。
- 今後の自分の姿を考えたり、将来のお金の使い方を考えたりしたことがなかったので、現在の問題を含め、これからのことを考えさせられた時間でした。
- 今は重要性をあまり感じていないけど、家族や将来の自分などのために今からでも少し理解をしていきたいです。

(2) 年金セミナー事業

第1回「福島県年金ポスターコンクール」の取組と結果

公的年金をテーマとしたポスターの作成を通じて、生徒に年金を身近に感じていただき、制度への参加意識を醸成していくことを目的として、福島県内の中学生を対象とした「年金ポスターコンクール」を令和2年度より実施しました。

実施にあたっては、中学校での新型コロナウイルス感染症の影響による授業スケジュールを考慮し、応募締め切りを当初予定の9月から12月に延長しました。結果は、9校から35点の応募がありました。

最優秀賞



「石川町立石川中学校」
迎 彩花 さんの作品

厚生労働省
東北厚生局長賞



「いわき市立中央台北中学校」
佐藤 さくら さんの作品

福島県
社会保険協会長賞



「福島市立福島第一中学校」
宮島 心花 さんの作品



コラッセふくしま(福島市)での展示の様子

ご応募いただいた学校へ作品集や記念品をお送りさせていただいたほか、上記の最優秀賞など3点については、ご応募いただいた学校へ訪問して賞状を授与いたしました。

また、応募作品の展示について、コラッセふくしま(福島市)や年金事務所の展示スペースでの展示を行いました。

(2) 年金セミナー事業

■ 教育機関における年金セミナーの実施

各教育関係機関のご協力をいただき、県内の対象校431校⁽¹⁾のうち、39校(45回)2,467名の学生・生徒に対して年金セミナーを実施しました。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により7月上旬までは年金セミナーを実施せず、前年度より実施校数で33校、実施回数で59回の減少となりました。

(1)内訳：公立・私立中学校(227校)、公立・私立高等学校(111校)、特別支援学校等(23校)、大学・専門学校(70校)

○ 教育機関別の年金セミナー実施状況

事務所名	大学・専門学校		特別支援学校等		高等学校		中学校		合計	
	実施校数	受講者数	実施校数	受講者数	実施校数	受講者数	実施校数	受講者数	実施校数	受講者数
東北福島	2校(2回) 3校(7回)	163名 298名	— 2校(2回)	— 63名	2校(2回) 11校(18回)	285名 1,339名	1校(1回) 3校(3回)	197名 190名	5校(5回) 19校(30回)	645名 1,890名
郡山	4校(5回) 7校(10回)	312名 310名	2校(2回) 1校(1回)	13名 10名	2校(2回) 3校(6回)	309名 276名	5校(5回) 6校(12回)	199名 427名	13校(14回) 17校(29回)	833名 1,023名
平	2校(2回) 1校(1回)	81名 100名	— —	— —	4校(5回) 6校(8回)	289名 562名	2校(4回) 2校(2回)	137名 135名	8校(11回) 9校(11回)	507名 797名
会津若松	— 1校(1回)	— 32名	— 1校(1回)	— 17名	4校(4回) 8校(8回)	136名 628名	3校(5回) 4校(6回)	121名 197名	7校(9回) 14校(16回)	257名 874名
相馬	1校(1回) 1校(1回)	92名 36名	— —	— —	— 5校(7回)	— 499名	— —	— —	1校(1回) 6校(8回)	92名 535名
白河	4校(4回) 3校(3回)	115名 87名	— 1校(1回)	— 20名	1校(1回) 1校(1回)	18名 51名	— 2校(5回)	— 139名	5校(5回) 7校(10回)	133名 297名
合計	13校(14回) 16校(23回)	763名 863名	2校(2回) 5校(5回)	13名 110名	13校(14回) 34校(48回)	1,037名 3,355名	11校(15回) 17校(28回)	654名 1,088名	39校(45回) 72校(104回)	2,467名 5,416名

(注1) 青字は令和元年度実績 (注2) 元年度の東北福島の高等学校1校については、相馬と共同で実施。(実施校数のみ東北福島へ計上)

(注3) 動画(DVD)での年金セミナーの実施回数は1回で計上

(2) 年金セミナー事業

■ 年金セミナーの実施状況 (大学・専門学校)

実施月	大学	学年	受講者数	事務所名	専門学校	学年	受講者数	事務所名
8月	・福島県農業総合センター農業短期大学校	1	58	白河				
12月					・福島看護専門学校(DVD) ・福島県立テクノアカデミー浜(DVD) ・白河准看護学院	1～3 1、2 2	128 92 14	東北福島 相馬 白河
1月					・いわきコンピュータ・カレッジ(DVD) ・磐城学芸専門学校(DVD) ・しらかわ介護福祉専門学校(DVD)	1、2 2、3 2	67 14 10	平 平 白河
2月					・ケイセンビジネス公務員カレッジ ・郡山ヘアメイクカレッジ ・太田看護専門学校(2回)	1、2 1 2	91 59 76	郡山 郡山 郡山
3月					・大原看護専門学校 ・公立岩瀬病院附属高等看護学院 ・白河厚生総合病院附属高等看護学院	1 1～3 2	35 86 33	東北福島 郡山 白河

(注)(DVD)は動画での年金セミナー実施

(2) 年金セミナー事業

■ 年金セミナーの実施状況 (高等学校・支援学校・中学校)

実施月	高等学校・支援学校	学年	受講者数	事務所名	中学校	学年	受講者数	事務所名
8月					・福島県立会津学鳳中学校	3	82	会津若松
9月					・福島市立福島第一中学校	3	197	東北福島
11月	・福島県立四倉高等学校 ・福島県立西会津高等学校	3 3	50 12	平 会津若松				
12月	・福島県立船引高等学校(DVD) ・いわき秀英高等学校(DVD) ・福島県立勿来高等学校	1~3 3 3	299 47 10	郡山 平 平	・須賀川市立小塩江中学校 ・いわき市立勿来第一中学校	3 3	10 101	郡山 平
1月	・福島県立福島南高等学校(DVD) ・福島県立平工業高等学校(DVD) ・福島県立川口高等学校(DVD) ・福島県立聴覚支援学校	3 3 3 3	71 182 25 6	東北福島 平 会津若松 郡山	・須賀川市立仁井田中学校(DVD) ・天栄村立湯本中学校	3 3	41 2	郡山 郡山
2月	・福島県立福島明成高等学校(DVD) ・福島県立大沼高等学校(DVD) ・福島県立耶麻農業高等学校(DVD) ・福島県立修明高等学校 鮫川分校 ・福島県福島学園(児童自立支援施設) ・福島県立たむら支援学校(高等部)	3 2 3 3 一 3	214 64 35 18 10 7	東北福島 会津若松 会津若松 白河 郡山 郡山	・須賀川市立稲田中学校(DVD) ・いわき市立藤間中学校(DVD) ・南会津町立荒海中学校(DVD) ・湯川村立湯川中学校(DVD)	3 3 3 3	21 36 13 26	郡山 平 会津若松 会津若松
3月					・郡山市立安積中学校(DVD)	3	125	郡山

(注)(DVD)は動画での年金セミナー実施

(3) 地域相談事業

■ 遠隔地における出張年金相談の開催

令和2年度の4月、5月については、新型コロナウイルス感染症の影響で出張相談を見合わせておりましたが、6月より感染対策を徹底したうえで再開しました。

事務所	開催市町	実施場所	相談日	実施回数	相談者数
会津若松	喜多方市	喜多方市役所	毎月/第2木曜日	9回 12回	46名 73名
	南会津町	南会津町役場	毎月/第4木曜日	10回 12回	44名 50名
相馬	南相馬市	南相馬市役所	毎月/第2、4水曜日	18回 22回	52名 88名

(注) 青字は令和元年度実績

ハローワークでの年金制度説明会については、毎年ハローワークの協力を得て、雇用保険受給者説明会において国民年金の加入や保険料の納付・免除の手続きについてのご案内を行ってきたところです。しかしながら、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、対面による実施が困難であることから、実施を見合わせる事となりました。

(4) 年金委員活動支援事業

■ 年金委員委嘱者数

日本年金機構では、年金委員として、政府が管掌する厚生年金保険および国民年金に関する適用・給付・保険料などについて、会社や地域において啓発、相談、助言などの活動を行う民間協力員を委嘱しています。

年金委員は活動により、職域型と地域型の2つに区分され、職域型は主に事業所内での活動、地域型は自治会などの地域において活動していただいています。

令和2年度の県内の職域型年金委員数は2,227名、地域型年金委員数は94名となり、前年度より職域型で44名減少、地域型で5名の増加となりました。

事務所名	平成29年度末			平成30年度末			令和元年度末 (A)			令和2年度末 (B)			増減 (B) - (A)		
	職域型	地域型	合計	職域型	地域型	合計	職域型	地域型	合計	職域型	地域型	合計	職域型	地域型	合計
東北福島	560	25	585	560	20	580	559	20	579	558	23	581	▲1	3	2
郡山	531	13	544	523	13	536	516	12	528	512	12	524	▲4	—	▲4
平	415	21	436	415	19	434	415	17	432	403	20	423	▲12	3	▲9
会津若松	373	20	393	376	17	393	373	10	383	368	13	381	▲5	3	▲2
相馬	169	8	177	171	3	174	172	3	175	151	3	154	▲21	—	▲21
白河	242	20	262	234	16	250	236	27	263	235	23	258	▲1	▲4	▲5
県内計	2,290	107	2,397	2,279	88	2,367	2,271	89	2,360	2,227	94	2,321	▲44	5	▲39

(4) 年金委員活動支援事業

年金委員への活動支援として、毎年研修会や連絡会を開催しておりますが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響から、一部研修会を除いて対面による研修会・連絡会を中止しました。

○ 年金委員活動にかかる具体的な取り組み

地域型・職域型年金委員へ新型コロナウイルス感染症の影響による保険料の納付猶予・免除等の案内送付

(日本年金機構本部) 令和2年6月

地域型年金委員向け広報紙「支えあい」の送付

(福島県各年金事務所) 令和2年6月・10月・2月発行

「ねんきん月間」に係るポスター・リーフレットの送付

(福島県各年金事務所) 令和2年11月

令和2年度 年金委員、健康保険委員、事業主表彰伝達式の実施

(福島県代表年金事務所主体) 令和2年11月12日

令和2年度「全国年金委員研修(TV会議)」の実施

(日本年金機構本部) 令和2年11月27日

「アニュアルレポート2019」の送付

(福島県代表年金事務所・各年金事務所) 令和2年12月

「年金手続における押印省略の取扱い」に係るチラシの送付

(福島県各年金事務所) 令和2年2月



毎年11月の「ねんきん月間」にあわせて、公的年金事業や健康保険事業の推進に顕著な功績のあった年金委員、健康保険委員及び事業主の方々へ表彰伝達を行っています。

令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止対策を徹底したうえで、研修会は実施せず、参加人数を限定して実施いたしました。

- 厚生労働大臣表彰 2名
- 日本年金機構 理事長表彰 5名
- 日本年金機構 理事表彰 14名
- 日本年金機構 年金事務所長感謝状 19名

2 「ねんきん月間」「年金の日」の取組

日本年金機構では、11月を「ねんきん月間」として、また11月30日(いいみらい)を「年金の日」として公的年金制度の周知・啓発活動を行っております。

事務所名	取組内容
福島県内	令和2年度 年金委員・健康保険委員・事業主表彰伝達式の実施
各年金事務所	令和2年度「社会保険事務講習会」の実施
会津若松・相馬	出張年金相談の実施
各年金事務所	管内の学校で年金セミナーを実施
会津若松	福島県退職公務員連盟大沼支部で年金制度説明会の実施
会津若松	管内の事業所で年金制度説明会の実施

3 マスコミでの取り上げ状況 (一部掲載)

年金セミナーの開催及び「わたしと年金」エッセイ募集等について、県政記者クラブへプレスリリースを行った結果、各紙面へ掲載をいただきました。

掲載年月日	メディア名	事業内容
令和2年6月16日(火)	福島民報新聞	「わたしと年金」エッセイ募集
令和2年6月16日(火)	福島民友新聞	
令和2年11月7日(土)	福島民報新聞	令和2年度 年金委員・健康保険委員・事業主表彰伝達式(受賞者発表)
令和2年11月12日(木)	福島民友新聞	
令和2年11月30日(月)	福島民報新聞	年金の日特集「11月30日は年金の日」です。
令和2年11月30日(月)	福島民友新聞	
令和3年3月19日(金)	福島民報新聞	第1回 福島県年金ポスターコンクール審査結果発表
令和3年3月29日(月)	福島民友新聞	

(注)掲載いただいた一部の内容について紹介しております。

4 福島県地域年金事業運営調整会議

地域住民の公的年金制度に対する理解をより深め、制度の加入や保険料納付の向上に繋がる地域支援ネットワークの構築及び地域に根ざした年金事業の積極的な推進を図ることを目的として、7月と1月に地域年金事業運営調整会議を開催しています。

7月の会議では、資料に基づき福島県における令和元年度の地域年金展開事業の取組結果及び令和2年度事業計画について説明を予定しておりましたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、書面での開催として各委員の皆様へ資料を送付しました。また、1月についても、新型コロナウイルス感染症が未だ収束していない状況を踏まえ中止としました。



5 各事業における総括と課題

事業種類	総括・課題
地域連携事業	○年金制度説明会の実施 令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、関係機関、団体と連携した対面での説明会の開催が難しい状況がありました。年金受給説明会やハローワークの雇用保険受給者説明会などの実施が困難な状況においては、年金加入者・受給者ともに幅広い世代に対して対面に代わる公的年金制度の周知・広報の方法を模索する必要があります。 こうした状況の中で、新型コロナウイルス感染症の影響にかかる保険料の特例措置の周知など、今後もし早く地域住民の方や事業所へ情報提供するツールとして、市町村の広報誌、ラジオ局を通じた周知活動など、新たな協力・連携による制度説明会を実施してまいります。
年金セミナー事業	○動画(DVD)を活用した年金セミナー実施 年金セミナーの実施については、コロナ禍の影響もあり、実施校、実施回数ともに減少となっております。対面での年金セミナーの代替として、動画を収録したDVDを学校に配布し、例年、年金セミナーを実施いただいている学校を中心にご活用いただきました。 令和2年度は、DVDの配布時期が11月後半以降となり、社会保障の授業に間に合わなかった学校もありました。 令和3年度は、早期に配布を行い、対面によるセミナー、またはDVDを活用したセミナーを検討いただくよう、アプローチを行ってまいります。 ○支援学校での年金セミナー実施 支援学校での年金セミナーは、父兄や教職員を対象にしたものが中心でしたが、障がいをもつ生徒ご自身が制度について、社会に出る前に学びたい、学ばせたいというご要望もいただいています。 通常より大きな文字を使用した資料を用意したり、手話通訳士の方にご協力をいただくなど、様々な工夫をしながら障害年金制度について理解を深めていただく機会を提供していきます。

5 各事業における総括と課題

事業種類	総括・課題
年金セミナー事業	○年金ポスターコンクールの開催 年金ポスターコンクールでは、中学生が「年金」から連想した幸せそうな老夫婦の絵や、「支えあいの精神」から連想した絵などご応募いただきました。 ポスターの作成を通して年金制度が自分や家族、社会に欠かせない制度であることを理解いただくことを目的としております。 令和3年度で2回目の開催となりますので、県内中学校へのアプローチや応募いただいた作品を活用し、コンクールの認知度を高めてまいります。
年金委員活動支援事業	○年金委員への情報提供 年金委員の皆様におかれましては、新型コロナウイルス感染症の影響で活動に制限があるなかで、保険料の特例措置やねんきん月間にかかるチラシ・リーフレットを職場、地域で回覧していただくなど、周知活動を行っていただきました。 しかしながら、対面による研修会や連絡会が中止となり、知識や意見の共有の場がない状況で、年金事務所と委員との結び付きをどのように継続していくかが課題となっています。 今後はオンライン研修会の実施を検討するとともに、委員への活動支援を積極的に行ってまいります。 ○年金委員の委嘱拡大 年金委員数については、年々減少する傾向にあります。そのため、継続的な取り組みとして文書勧奨や電話等でのアプローチを行うとともに、年金委員制度へご理解をいただき、関係団体へ協力依頼を行うなど委嘱拡大に向けて取り組んでまいります。